

韓国で世界を揺るがす闘いが巻き起こっています。パククネ大統領が進める鉄道民営化に対して、韓国の鉄道労組が昨年末23日間、壮絶なストライキを敢行。さらに1月にも2回のゼネストを実施。ストには韓国のもう1つの労働組合・韓

国労総、そしてパククネの不正選挙に怒る何万もの市民が合流。2月25日には「鉄道民営化中止！パククネ独裁打倒！」の全国民ストライキが予定され、パククネ大統領は倒される寸前です。直前の11月、日韓の労働者が固くつながりました。

# 韓国労働者がパククネたおせの 10万人ゼネスト



国際連帯の力が戦争をとめる

昨年11月11日、韓国全教組・公務員労組と熱い交流会（写真下）

# 命よりカネの 安倍政権を倒そう！

民営化反対が  
社会を変える

1%の支配者たちが民営化を進めて、低賃金・長時間労働・非正規職化が世界中で広がっています。歴史上かつてないほどの格差社会が生み出され、99%の労働者の生活と命が奪われています。青年が非正規に追いやられている原因こそ国鉄に始まる民営化です。

韓国の労働者たちは「もうだまされないうぞ」という怒りで立ち上がっているのです。

日本の動労千葉と  
固い国際連帯

韓国がこれほどの事態になっているにもかかわらず日本のマスコミが意図的に報道しないのは、じつはこの闘いが日本の労働者の闘いと固く結びついているからです。

80年代にすでに強行された日本の国鉄分割・民営化に対して、唯一クビをかけて2波のストライキで闘い、いまでも民営化・外注化・非正規職化と闘い続けている国鉄千葉動力車労働組合（動労千葉）と、民主労総ソウル本部は10年を超える交流・

連帯を育んでいます。日本と韓国―世界の労働者が連帯したら、安倍首相たちが狙う戦争も絶対にできません。

労働者の力で  
東京を変えよう

国鉄分割・民営化で解雇された労働者の解雇撤回の闘いは動労千葉を先頭に26年間闘われ、昨年9月25日には地裁に続いて東京高裁でも国家とJRによる「不当労働行為」が認定されました。この裁判の弁護士が鈴木たつおさんです。自分も解雇撤回を闘い、一貫して労働者のために闘ってきた弁護士です。

東京でも、都や区をはじめ保育園・病院から窓口業務までが一斉に民営化されようとしています。猪瀬・徳洲会事件が示したものは、補助金という名の税金と公共財がタダで資本家に投げ与えられていたということです。これこそ石原のやった病院の民営化の正体です。地下鉄の一元化＝民営化も全く同じです。石原・猪瀬両知事の悪行をただすのは労働者の力だけです。原発推進派を押すまでに腐敗した連合などの幹部から労働組合を取りもどして、本当の労働者の力を見せつけてやりましょう。

労働者の代表を都知事に